

きのこ害虫を振動で防除する

～ 化学農薬を用いない、安全・安心なきのこ生産技術を確立します ～

研究の背景・目的

○島根県において、きのこ類生産は重要な産業です。

きのこ生産で問題となるのが、きのこに発生する様々な害虫です。これらの害虫は、収穫するきのこ類を加害するほか、商品に紛れこみ、異物混入などの問題を引き起こしています。

そこで、きのこ類に発生する害虫を、「振動」という物理的な防除方法を活用する技術を開発します。



しいたけ菌床栽培

ガ類、キノコバエ類の被害対策に、捕殺器や粘着シートを設置で多大な経費を要している。
(捕殺器の設置、菌床の洗浄など)



ハラアカコブカミキリ成虫。幼虫は、しいたけ原木を食害



シイタケ子実体を食害するフタオビコキノコムシ

研究方法

- ①きのこ栽培害虫であるコウチュウ目やチョウ目に対して、固体振動を与えた場合の忌避・逃避行動等の反応を調査します。
- ②共同研究のなかで試作した振動発生装置を用いて、効果的な使用方法を開発します。



振動の発生させて、解析

研究状況

H27年度から新たに取り組みます。

初年度は、昆虫に様々な条件で振動を与えて、害虫の種類毎に振動への反応特性を調査します。

研究成果の活用・今後の研究計画

きのこ栽培害虫であるコウチュウ目やチョウ目に対して、固体振動を与えた場合の忌避・逃避行動等の反応を調査きのこ栽培現場における、害虫に対しての共同研究で振動発生装置の効果的な使用方法を確立する

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 森林保護育成科

研究担当者 : 福井修二・舟木 宏

問い合わせ先 : 0854-76-3822

E-mail : fukui-shuji@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : きのこ害虫に対する固体振動装置を用いた物理的保護技術の開発

